

令和5年度 奈良県立畝傍高等学校  
第3回学校運営協議会 議事録

令和6年3月4日(月) 9:00~10:30

出席者 委員 8名(2名欠席)

事務局5名

1 校長挨拶

2 協議

<副会長より>

学校評価総括表には、具体的目標、令和5年度の目標値と取組状況、自己評価が書かれているので、これを目安にして協議会としての評価を順に協議していく。

<評価の中で委員から出たご意見>

① 全日制「学校評価総括表」学校関係者評価について

- 生徒も教員もなかなか時間が取れない中で、生徒と教員が向き合う時間(面談)の機会をこれ以上増やすのは困難だが、この取組は生徒のメンタルヘルスを考えるうえでも、重要であると考えます。
- 体力テストにおける総合評価を全国平均以上と目標に定め、1・2年の女子が全国平均以下であることに對して、基礎体力の向上を体育の授業、クラブ活動等、普段から心掛ける必要がある。
- 睡眠時間が少ない生徒が多いことに對して、教える側も課題の量なども点検する必要があるのではないかと。面接などをして他の原因なども分析し、生徒一人ひとりに合った生活スタイルを指導していく必要がある。
- 英語で学ぶ「思考法」プログラムの実施を、金鷄会からも援助をいただいて、1・2年生対象に実施しているが、募集時期なども見直し、生徒がより参加しやすい状況を作ることが重要である。
- グローバル探究の研究・推進において、外部有識者の助言を仰ぐ機会を3回としていることに對して、3回の運営指導委員会以外にも、3年生による課題研究発表会や2年生による探究成果発表会においてもご助言・ご指導をいただいているので、「A」にしてはどうか。
- 留学制度への金鷄会からの補助額の見直しや、海外の学校とのオンラインの交流の回数も増やしていくことで、できるだけ生徒が海外へ目を向け、広い視点や視野を得られる機会に繋がればと思う。

② 定時制「学校評価総括表」学校関係者評価について

- 様々なアンケートに答え切れていない生徒が、2～3名いる。そのような生徒は、特に面談等を増やしなが  
ら、より深い生徒理解が必要であるように思う。

③ 今後の地域との連携・交流について

- 今年度は、後夜祭の花火の打ち上げや畝高イルミネーションなどにおいて、地域の方々にも多く来校いた  
だいた。今後は、様々な広報にも掲載し、より多くの方に畝傍高校の魅力をアピールしてもらいたい。檀原  
市の広報誌にも掲載は可能である。

3 連絡事項

4 学校長挨拶